

綾町の「自然生態系を基盤に置いた町づくり」の歴史概略

1950年代 綾川総合開発事情等で繁栄

1960年頃の綾⇒夜逃げの町状況

1966年(昭和41年)郷田氏(前町長)就任・照葉樹林伐採計画浮上⇒直観的に反対【**環境問題取り組み元年**】

* :原体験に育まれた郷田氏の心が激しく燃え上がる ⇒ **照葉樹林生態系は生物・人間の生命の基盤**

1967年(昭和42年)自然との共生の政策模索 「木工の町づくり」、「一坪菜園運動」、「有機農業の町づくり」等で対抗。

区町制を止め「**自治公民館活動補助金交付規定**」を定め、自治公民館運動を展開

(これらの動きが**教育力地域力回復・食育・地産地消/スローフード&ライフ等の今日課題取り組みの先駆けとなる**)

1968年(昭和43年)「**一戸一品運動**」、「**手作り・生活文化祭**」・1974年(昭和49年)「**綾町の自然を守る条例**」制定。

1978年(昭和53年)町全部の尿尿関係を液状堆肥化施設「**自給肥料供給施設**」完成('81; **家畜糞尿処理施設**)。

尿尿から生ゴミまで肥料化。**綾町全域を循環系システムで構築**

1983年(昭和58年)「**綾町憲章**」で自然生態系を生かして育てる町・生活文化を生態史観に基づき推進する町を宣言

1984年(昭和59年)「**てるは大吊り橋完成**」 **最小限非消耗型自然利用** ・1985年(昭和60年)「**照葉樹林都市宣言**」

1987年(昭和62年)「**綾町アメニティ・タウン計画**」

1988年(昭和63年)全国初の「**自然生態系農業推進に関する条例**」を制定。**生きる大前提の食の安全確保**

1989年(平成元年)「**有機農業開発センター**」設立・1995年(平成7年)「**水源の森百選**」、「**日本一星の見える町**」認定

酒泉の杜の完成で、**森の恵みを最大限生かす地域づくりの目玉完成** ・1999年「**地域活性化のための地域滞在型エコツーリズム(エコの森)調査報告書**

2000年(平成12年)「**綾町都市計画マスタープラン**」、「**綾山村等活性化ビジョン**」

2001年(平成13年)「**第五次綾町総合長期計画**」

2002年(平成14年)「**世界自然遺産登録運動**」、「**綾町中心市街地活性化基本計画**」

2003年(平成15年)「**綾町農業振興地域整備計画書**」

2004年(平成16年)「**綾町都市計画 都市計画区域マスタープラン**」

2005年(平成17年)国・県・町・NACS-J・NPO協働の「**保護・復元計画流域綾川照葉樹林**」保護復元スタート(100年間)

2006年(平成18年)「**綾町総合長期計画 後期基本計画**」・2007年(平成19年)「**綾町照葉の里景観条例**」制定、**里山作り**

2008年(平成20年)「**森林セラピー基地**」認定・2009年(平成21年)「**BR申請検討提案**」**日本で最も美しい村**連合に加盟

2010年(平成22年)「**BR申請活動開始**」、「**国際照葉樹林サミット**」(口蹄疫で直前延期)、「**生物多様性保全林プロジェクト**」

2011年(平成23年)「**BR申請書提出予定**」**国際照葉樹林サミット**